

健 感 発1126 第 4 号
薬生安発1126 第 5 号
平成 30 年 11 月 26 日

各

都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区

 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長
(公 印 省 略)

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長
(公 印 省 略)

インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向
に関する研究に対する協力について（依頼）

標記について、昨年度に引き続き、平成 30 年度日本医療研究開発機構委託研究開発費医薬品等規制調和・評価研究事業において、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の指定に基づき下記の研究が行われることとなっています。

当該研究に係る調査については、別紙によりインフルエンザ定点のほか約 6 万 5 千箇所の主に関内科・小児科・救急告示医療機関に送付されます。御多忙のことと存じますが、貴管内医療機関への情報提供等についても重ねて御協力くださいますよう、よろしくお願い致します。

なお、本件については、別添写しのとおり、医療関係団体の長へ協力をお願いしておりますことを申し添えます。

記

研 究 名：インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向
に関する研究
(平成 30 年度日本医療研究開発機構委託研究開発費医薬品等規制調和
・評価研究事業実施課題)

研究代表者：川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦

※昨年度の報告は次の URL（厚生労働省ホームページ）で御覧いただけます。
<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/000378863.pdf>

平成 30 年 11 月 日

各 医 療 機 関 御 中

インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動
に係る全国的な動向に関する研究班

インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向
に関する研究に対する協力をお願いについて

時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記について、昨年度に引き続き、平成 30 年度日本医療研究開発機構委託研究開発費医薬品等規制調和・評価研究事業において、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の指定に基づき下記の研究が行われることとなっています。当該研究に係る調査について、医療機関から当該研究班への症例の報告について御協力をいただきたく、よろしくお願いいたします。

また、本調査に関する協力依頼等については、別添写しのとおり、厚生労働省健康局結核感染症課長及び医薬・生活衛生局医薬安全対策課長から、各都道府県・保健所設置市・特別区衛生主幹部（局）長及び医療関係団体の長宛てに通知されておりますので、併せてお伝えいたします。

記

研 究 名：インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向
に関する研究
（平成 30 年度日本医療研究開発機構委託研究開発費医薬品等規制調和
・評価研究事業実施課題）

研究代表者：川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦

調査内容等：

- 感染症法に基づくインフルエンザ定点以外の医療機関
・・・別記様式 1（重度調査）のとおり
- 感染症法に基づくインフルエンザ定点医療機関
・・・別記様式 2（重度調査及び軽度調査）のとおり

※昨年度の報告は次の URL（厚生労働省ホームページ）で御覧いただけます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/000378863.pdf>

インフルエンザに伴う異常な行動に関する調査のお願い

〔インフルエンザ定点以外の医療機関用〕

インフルエンザ様疾患罹患時及び抗インフルエンザ薬使用時に見られた異常な行動が、医学的にも社会的にも問題になっており、2007年より調査をお願いしております。厚生労働省では、引き続き、その背景に関する実態把握をいたしたく、川崎市健康安全研究所により研究を行うこととしておりますので、以下のとおり、当該研究にかかる調査へのご協力をお願いします。

〔調査の概要〕

重度の異常な行動に関する調査（重度調査）

＜調査依頼対象＞： すべての医療機関

＜報告対象＞： インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、重度の異常な行動※を示した患者

※飛び降り、急に走り出すなど、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動（別添(報告基準)参照）

＜報告対象期間等＞：平成30年11月～平成31年3月

平成30年11月1日以降、報告対象症例を診察されるごとに、随時、報告してください。

＜報告方法＞： F A X（別紙様式により報告）

(別添) インフルエンザに伴う異常な行動に関する報告基準 (報告基準)

(重度調査) インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、**重度**の異常な行動を示した患者につき、ご報告ください。

インフルエンザ様疾患

臨床的特徴（上気道炎症状に加えて、突然の高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛を伴うこと）を有しており、症状や所見からインフルエンザと疑われる者のうち、下記のいずれかに該当する者

- 次のすべての症状を満たす者
 - ①突然の発症、②高熱（38℃以上）、③上気道炎症状、④全身倦怠感等の全身症状
- 迅速診断キットで陽性であった者

重度の異常な行動

- 突然走り出す
- 飛び降り
- その他、予期できない行動であって、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動

※ 該当する患者さんがおられない場合は、報告の必要はありません。

※ 複数症例報告される場合には fax 用紙を

<http://www.nih.go.jp/niid/images/idsc/disease/influenza/search/pdf-b.pdf>

からダウンロードしてください。ダウンロードできない場合には、ご連絡ください。

※ インフルエンザ定点医療機関とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により都道府県に指定された、毎週インフルエンザの患者数を保健所に報告する医療機関のことです。

※ この調査において報告をお願いする「患者さんに関する異常な行動に関する情報」は、個人情報の保護に関する法律で定められた『個人情報』には該当いたしません。

なお、報告いただいた内容（症状や使用薬剤等）に関して、後日、照会を行う場合があります。そのため、「医療機関名」及び「報告医師名」について記載いただくこととしておりますが、これらの情報につきましては、調査研究報告書作成後、直ちに廃棄する予定です。

※ 調査報告に関する疑義・お問い合わせにつきましては、国立感染症研究所感染症疫学センター（連絡先 大日（おおくさ）tel:0120-577-372 fax:0120-887-311 e-mail:ohkusa@nih.go.jp）まで、お願いします。

インフルエンザ様疾患罹患時異常行動データベース fax 送信用紙

送信先:0120-887-311(混雑時には0120-887-432でも可)

送信枚数:2枚

① 医療機関名		② 医師氏名	
③ 都道府県名	都・道・府・県	④ 電話番号	
⑤ インフルエンザ定点医療機関	☐ 該当 ☐ 非該当	⑥ 報告日	年 月 日
⑦ 発熱日時	年 月 日 時頃	⑧ 異常行動が発現した日時	年 月 日 時頃
⑨ 患者の年齢	歳 月 (月齢は1歳未満のみ)	⑩ 患者の性別	☐ 男 ☐ 女
⑪ 最高体温	度	⑫ インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明
⑬ 迅速診断キットによる検査結果	☐ 陽性(A 型(H3N2))	☐ 陽性(A 型(H1N1))	☐ 陽性(A 型(亜型不明))
	☐ 陽性(B 型)	☐ 陽性(型不明)	☐ 陰性 ☐ 不明
⑭ 罹患前半年間の予防接種歴	☐ 無し ☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 不明		

⑮ 異常行動前に抗インフルエンザウイルス薬の使用はありましたか	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明		
⑮で「はい」の場合、該当する薬剤全てをチェックしてください(※1) またその薬剤の異常行動前最後の使用日時を教えてください(※2)	☐ 薬剤名不明		
	☐ タミフル(リン酸オセルタミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ オセルタミビル[サワイ](リン酸オセルタミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ シンメトレル(塩酸アマンタジン)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ リレンザ(ザナミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ ラピアクタ(ペラミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ イナビル(ラニナミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
⑮で「はい」の場合、該当する薬剤全てをチェックしてください(※1)(※2)	☐ ゾフルーザ(バロキサビルマルボキシル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ 薬剤名不明		
	☐ アセトアミノフェン(処方薬)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ アセトアミノフェン(一般用医薬品)	月 日 時頃	☐ 日時不明
⑮で「はい」の場合、薬剤名をお書きください(※1)(※2)	☐ テオフィリン		
	☐ 薬剤名不明	月 日 時頃	☐ 日時不明
		月 日 時頃	☐ 日時不明
		月 日 時頃	☐ 日時不明
		月 日 時頃	☐ 日時不明
		月 日 時頃	☐ 日時不明

※1:薬剤の種類が不明の場合には薬剤名不明欄にチェックを入れてください

※2:使用日時不明の場合には、日時不明欄にチェックを入れてください

⑬ ⑮・⑯・⑰の全てで「いいえ」と回答のあった場合（一般用医薬品除く）、異常行動発現前にインフルエンザによる医療機関の受診がありましたか	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明	
⑱で「はい」の場合、右の薬剤の処方がありましたか（複数回答可）	☐ 処方なし ☐ シンメトレル ☐ イナビル ☐ テオフィリン	☐ タミフル ☐ オセルタミビル[サワイ] ☐ リレンザ ☐ ラピアクタ ☐ ゾフルーザ ☐ アセトアミノフェン（処方薬）

医師氏名

-  今回の異常行動の発現
 前回の異常行動の発現

	前回(今シーズンあるいはそれ以前)の インフルエンザ罹患	今回の インフルエンザ罹患
Q. 今回のインフルエンザ罹患の 経過中、複数回の異常行動が 発現しましたか？  があった場合は「はい」へ		
Q. 前回(今シーズンあるいはそれ以前) のインフルエンザ罹患の経過中、 異常行動が発現しましたか？  があった場合は「はい」へ		



インフルエンザに伴う異常な行動に関する調査のお願い

〔インフルエンザ定点医療機関用〕

インフルエンザ様疾患罹患時及び抗インフルエンザ薬使用時に見られた異常な行動が、医学的にも社会的にも問題になっており、2007年より調査をお願いしております。厚生労働省では、引き続きその背景に関する実態把握をいたしたく、川崎市健康安全研究所により研究を行うこととしておりますので、以下のとおり、当該研究にかかる調査へのご協力をお願いします。

なお、すべての医療機関におきましては、重度の異常行動を示した症例の報告をお願いしておりますが、感染症法に基づくインフルエンザ定点医療機関におかれましては、インフルエンザ患者のなかでどのくらいの割合で異常行動が発生しているかの背景を調査するため、重度に加え、軽度の異常行動を示した症例についても報告をお願いします。

〔調査の概要〕

I 重度の異常な行動に関する調査（重度調査）

〈報告対象〉： インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、**重度**の異常な行動[※]を示した患者

※飛び降り、急に走り出すなど、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動（別添（報告基準）参照）

〈報告対象期間等〉：平成30年11月～平成31年3月

平成30年11月1日以降、報告対象症例を診察されるごとに、随時、報告してください。

II 軽度の異常な行動に関する調査（軽度調査）

〈報告対象〉： インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、**軽度**の異常な行動[※]を示した患者

※何かにおびえて手をばたばたさせるなど、その行動自体が生命に影響を及ぼすことは考えられないものの、普段は見られない行動（別添（報告基準）参照）

〈報告対象期間等〉：平成30年11月～平成31年3月

平成30年11月1日以降、報告対象症例を診察されるごとに、随時、報告してください。

〈報告方法〉：FAX（別紙様式により報告）



(別添) インフルエンザに伴う異常な行動に関する報告基準 (報告基準)

(重度調査) インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、**重度**の異常な行動を示した患者につき、ご報告ください。

(軽度調査) インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、**軽度**の異常な行動を示した患者につき、ご報告ください。

インフルエンザ様疾患

臨床的特徴（上気道炎症状に加えて、突然の高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛を伴うこと）を有しており、症状や所見からインフルエンザと疑われる者のうち、下記のいずれかに該当する者

- 次のすべての症状を満たす者
 - ①突然の発症、②高熱(38℃以上)、③上気道炎症状、④全身倦怠感等の全身症状
- 迅速診断キットで陽性であった者

I 重度の異常な行動

- 突然走り出す
- 飛び降り
- その他、予期できない行動であって、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動

II 軽度の異常な行動

- 会話中、突然話が通じなくなる
- おびえ・恐慌状態
- 無いものが見えると言う
- わめく・泣きやまない
- 暴力・興奮状態
- はねる
- 徘徊
- 無意味な動作の繰り返し
- その他、その行動自体が直ちに生命に影響が及ぶことは考えられないものの、普段は見られない行動

※ 該当する患者さんがおられない場合は、報告の必要はありません。

※ 複数症例報告される場合には fax 用紙を

<http://www.nih.go.jp/niid/images/idsc/disease/influenza/search/pdf-c.pdf>

からダウンロードしてください。ダウンロードできない場合には、ご連絡ください。

※ インフルエンザ定点医療機関とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により都道府県に指定された、毎週インフルエンザの患者数を保健所に報告する医療機関のことです。

※ この調査において報告をお願いする「患者さんに関する異常な行動に関する情報」は、個人情報の保護に関する法律で定められた『個人情報』には該当いたしません。なお、報告いただいた内容（症状や使用薬剤等）に関して、後日、照会を行う場合があるため、「医療機関名」及び「報告医師名」について記載いただくこととしておりますが、これらの情報につきましては、調査研究報告書作成後、直ちに廃棄する予定です。

※ 調査報告に関する疑義・お問い合わせにつきましては、国立感染症研究所感染症疫学センター（連絡先 大日（おおくさ）tel:0120-577-372 fax:0120-887-311 e-mail:ohkusa@nih.go.jp）まで、お願いします。

インフルエンザ様疾患罹患時異常行動データベース fax 送信用紙

送信先: 0120-887-311 (混雑時には0120-887-432でも可)

送信枚数: 2枚

① 医療機関名		② 医師氏名	
③ 都道府県名	都・道・府・県	④ 電話番号	
⑤ インフルエンザ定点医療機関	☒ 該当 ☐ 非該当	⑥ 報告日	年 月 日
⑦ 発熱日時	年 月 日 時頃	⑧ 異常行動が発現した日時	年 月 日 時頃
⑨ 患者の年齢	歳 カ月 (月齢は1歳未満のみ)	⑩ 患者の性別	☐ 男 ☐ 女
⑪ 最高体温	度	⑫ インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 不明
⑬ 迅速診断キットによる検査結果	☐ 陽性(A 型(H3N2))	☐ 陽性(A 型(H1N1))	☐ 陽性(A 型(亜型不明))
	☐ 陽性(B 型)	☐ 陽性(型不明)	☐ 陰性 ☐ 不明
⑭ 罹患前半半年間の予防接種歴	☐ 無し ☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 不明		

⑮ 異常行動前に抗インフルエンザウイルス薬の使用はありましたか	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明		
⑮で「はい」の場合、該当する薬剤全てをチェックしてください(※1) またその薬剤の異常行動前最後の使用日時を教えてください(※2)	☐ 薬剤名不明		
	☐ タミフル(リン酸オセルタミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ オセルタミビル[サワイ](リン酸オセルタミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ シンメトレル(塩酸アマンタジン)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ リレンザ(ザナミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ ラピアクタ(ペラミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ イナビル(ラニナミビル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ ゾフルーザ(パロキサビルマルボキシル)	月 日 時頃	☐ 日時不明
⑯ 異常行動前にアセトアミノフェンあるいはテオフィリンの使用はありましたか	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明		
⑯で「はい」の場合、該当する薬剤全てをチェックしてください(※1)(※2)	☐ 薬剤名不明		
	☐ アセトアミノフェン(処方薬)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ アセトアミノフェン(一般用医薬品)	月 日 時頃	☐ 日時不明
	☐ テオフィリン		
⑰ 異常行動前に上記以外の薬剤の使用はありましたか	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明		
⑰で「はい」の場合、薬剤名をお書きください(※1)(※2)	☐ 薬剤名不明	月 日 時頃	☐ 日時不明
		月 日 時頃	☐ 日時不明
		月 日 時頃	☐ 日時不明
		月 日 時頃	☐ 日時不明
		月 日 時頃	☐ 日時不明

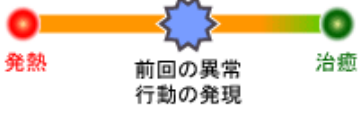
※1: 薬剤の種類が不明の場合には薬剤名不明欄にチェックを入れてください

※2: 使用日時不明の場合には、日時不明欄にチェックを入れてください

⑬ ⑭・⑮・⑯の全てで「いいえ」と回答のあった場合（一般用医薬品除く）、異常行動発現前にインフルエンザによる医療機関の受診がありましたか	☐ はい ☐ いいえ ☐ 不明		
⑬で「はい」の場合、右の薬剤の処方がありましたか（複数回答可）	☐ 処方なし	☐ タミフル	☐ オセルタミビル[サワイ]
	☐ シンメトレル	☐ リレンザ	☐ ラピアクタ
	☐ イナビル	☐ ゾフルーザ	☐ アセトアミノフェン（処方薬）
	☐ テオフィリン		

2/2

-  今回の異常行動の発現
 前回の異常行動の発現

	前回(今シーズンあるいはそれ以前)の インフルエンザ罹患	今回の インフルエンザ罹患
Q. 今回のインフルエンザ罹患の 経過中、複数回の異常行動が 発現しましたか？  あった場合は「はい」へ		
Q. 前回(今シーズンあるいはそれ以前) のインフルエンザ罹患の経過中、 異常行動が発現しましたか？  あった場合は「はい」へ		

健 感 発1126 第 5 号
薬生安発1126 第 6 号
平成 30 年 11 月 26 日

(別記)

厚生労働省健康局結核感染症課長
(公 印 省 略)

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長
(公 印 省 略)

インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向
に関する研究に対する協力について（依頼）

標記について、昨年度に引き続き、平成 30 年度日本医療研究開発機構委託研究開発費医薬品等規制調和・評価研究事業において、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の指定に基づき下記の研究が行われることとなっています。

当該研究に係る調査については、別紙によりインフルエンザ定点のほか約 6 万 5 千 5 百箇所の主に内科・小児科・救急告示医療機関に送付されますが、医療機関から当該研究班への症例の報告について、貴団体所属の医療機関からの積極的な症例の報告につき、御協力をいただきたくお願い申し上げます。

なお、本件については、別添写しのとおり、各都道府県・保健所設置市・特別区衛生主管部（局）長へ協力をお願いしておりますことを申し添えます。

記

研 究 名：インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向
に関する研究
(平成 30 年度日本医療研究開発機構委託研究開発費医薬品等規制調和
・評価研究事業実施課題)

研究代表者：川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦

※昨年度の報告は次の URL（厚生労働省ホームページ）で御覧いただけます。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11121000/000378863.pdf>

(別記)

公益社団法人日本医師会 御中
国立大学附属病院長会議常置委員会委員長 殿
独立行政法人国立病院機構理事長 殿
一般社団法人全国公私病院連盟会長 殿
公益社団法人全国自治体病院協議会会長 殿
公益社団法人全日本病院協会会長 殿
一般社団法人日本医療法人協会会長 殿
一般社団法人日本私立医科大学協会会長 殿
公益社団法人日本精神科病院協会会長 殿
一般社団法人日本病院会会長 殿
一般社団法人日本慢性期医療協会会長 殿
独立行政法人労働者健康安全機構理事長 殿